

第 58 回センサ&アクチュエータ技術シンポジウム
人工知能とセンサ応用（第 4 回）
・・・最新医療に貢献するセンシングと AI・・・

SDGs、Society5.0 においてデジタル変革にとっての基幹技術が明確となり、AI についても AI 戦略 2019 が公表され目標達成するための具体的な目標と取り組み方が示されました。当協議会では AI ワーキンググループ活動により、人工知能（AI）技術とセンサ応用について、シンポジウムやディープラーニング実習セミナーを通じて啓蒙と普及に努めてきました。

今年度の第 4 回シンポジウムでは新型コロナの関係で医療への関心も高い、「AI と医療」に焦点をあて、数理モデリングについて東京大学名誉教授・合原一幸先生、生体情報センシングについて東京医科歯科大学教授三林浩二先生、画像診断について近畿大学教授木村裕一先生にご講演いただくことになりました。多くの会員にとっても話題の実例を知ることができる有益なものであると期待されます。昨年同様、多くの皆様の参加をお待ち申し上げます。
 （企画；前田賢一）

日 時：2020 年 12 月 1 日（火） 13:30～16:30 オンライン開催
2020 年 12 月 3 日～12 月 17 日 オンデマンド配信
場 所：オンライン開催（参加者には、当日午前中までに視聴用 URL をお知らせします。また、資料は事前に URL からダウンロードしていただきます）なお、配信の録画および資料の転送は固くお断りします。
主 催：一般社団法人次世代センサ協議会
協 賛：一般社団法人電気学会、公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本電気計測器工業会、センシング技術応用研究会、一般財団法人マイクロシンセンター、一般社団法人日本計量機器工業連合会、特定非営利活動法人安全工学会、MEMS パークコンソーシアム、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、フジサンケイ ビジネスアイ（依頼予定）

参加費：次世代センサ協議会会員 5,000 円、協賛団体会員 10,000 円、一般 16,000 円（消費税込）

学生 無料（ただしレポート提出のこと）

参加定員：オンライン、オンデマンド 60 名

申込方法：お申込みは、[申し込みフォーム](#)

プログラム

13:30～13:40	あいさつ 次世代センサ協議会理事／元東芝研究開発センター技監 前田賢一氏
13:40～14:30	講演 複雑系の数理モデリング：最新医療に向けて 本講演では、複雑系数理モデル学の概要をご説明するとともに、その最新医療との関係、特に疾病を発病前に検知する動的ネットワークバイオマーカーや感染症流行の数理モデルなどをご紹介します。 東京大学特別教授、同名誉教授 同ニューロインテリジェンス国際研究機構（IRCN）副機構長 合原一幸氏
14:30～14:40	休 憩
14:40～15:30	講演 先制医療・ヘルスケアのための化学/バイオ情報モニタリング 本講演では、情報処理を要する生体物理情報に次いで今後、同様な処理が必要となる「化学/バイオ情報」のセンシングに関して、ウェアラブル計測や生体ガスの時空間モニタリングを紹介する。 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所教授 三林浩二氏
15:30～15:40	休 憩
15:40～16:30	講演 最新の医療画像診断技術 — PET を用いた認知症診断を中心に — 画像診断は、患者への負担が少ないことと、疾患部位の空間的な拡がり把握することが出来ることから、多用されている。本講演では、核医学領域で使用される、陽電子断層画像法(Positron Emission Tomography, PET)の癌や認知症診断への適用を中心に、画像診断の最近の動向について解説する。 PET では、様々な生体機能を定量的に撮像可能である。PET の原理を概説した後、臨床の実例を幾つか提示する。又、AI を用いた最新の動向を紹介する。 近畿大学 生物理工学部 生命情報工学科教授 木村裕一氏

※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

■お問い合わせ先：一般社団法人次世代センサ協議会 事務局
 Tel.03-6910-0889 Fax.03-6910-0899 E-mail: office@jisedaisensor.org